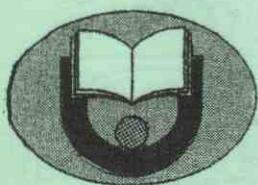


宇佐市民図書館だより



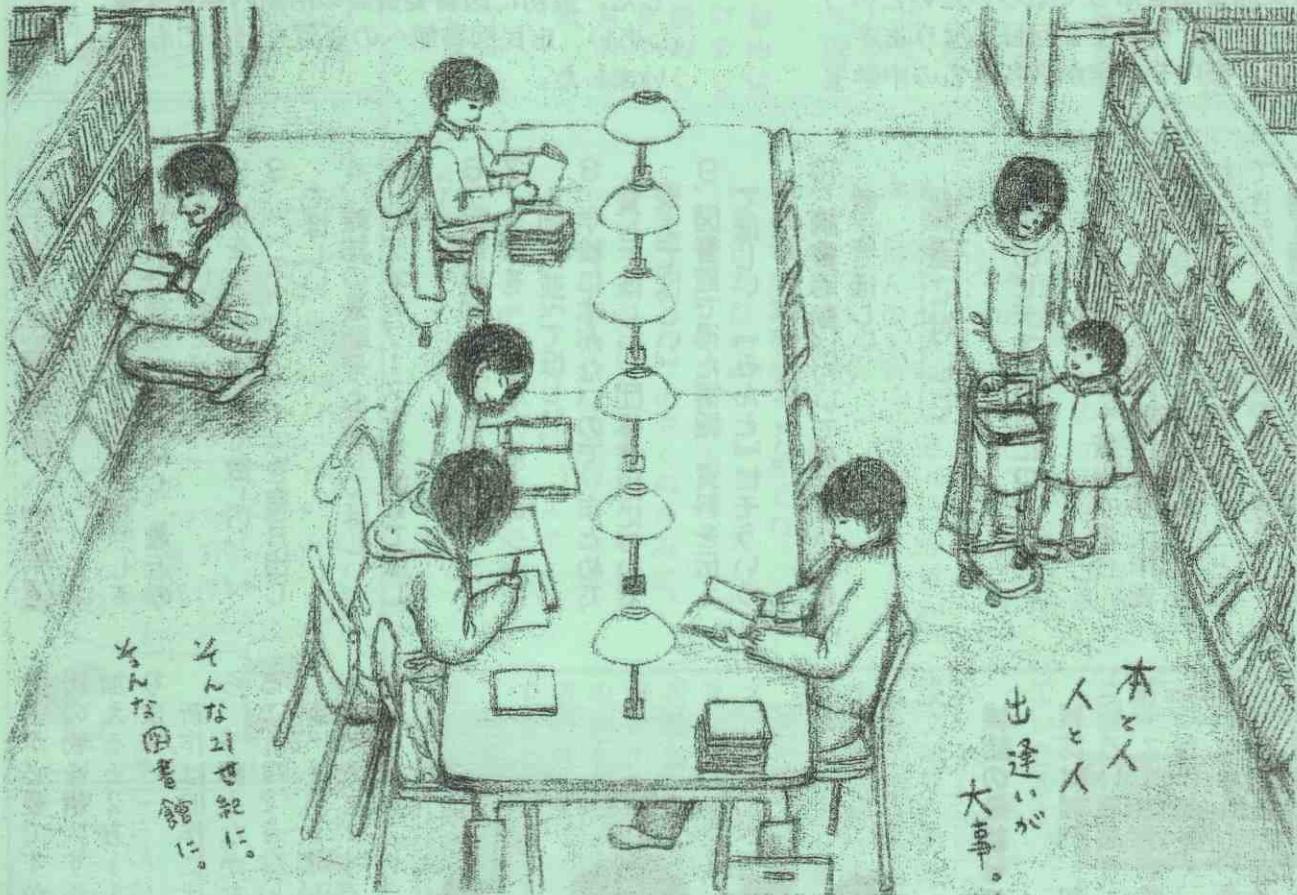
みんと

第23号
2001年1月1日発行

〒879-0453

大分県宇佐市大字上田1017-1
宇佐市民図書館

サーサ ヨムゾー
TEL: (0978)-33-4600
FAX: (0978)-33-4679



そんなとき
みんな
図書館
に。

20世紀と21世紀にまたがって生きると
いう初めての体験をして2001年を迎
えました。おめでとうございます▼21世
紀にふさわしい図書館をめざして、皆様
とともに歩む宇佐市民図書館をどうぞよろしく
お願いします。21世紀を展望する本、予測本(雑
誌も)をたくさん用意してご利用をお待ちして
います▼新世紀を迎えた今日、地球環境はゆら
ぎ、世界は予想を超えて激動し、ごく身近な所
でも小刻みに事が起これ、何ともいえない停滞
感、閉塞感、不安や危惧を抱いているあなた▼
足をしつかり地につけ、世界に目を向け、中長
期的に物事をとらえ、見通しを持って21世紀を
生きようと、ちょっと力んでいる方。いや、そ
んなしちゃんことは考えず、自分流の生き方
をしたいという方▼あなたは新世紀最初の1年
をどう生きようとしているのでしょうか。北海
道の中1・遠藤直美さんの生き方に学びたいと
思います。詩『手』(雑誌『子どものしあわせ』
1月号から)▼星野富弘さんの詩を読んだ/「神
様がたつた一度だけ/この腕を動かして下さる
としたら/母の肩をたたかせてもらおう」/な
ぜか涙が自然に落ちてくる/身体の不自由な人
が必死で生き/お母さんのことを使っている姿
/私はこの手で/何度も人のために使えただろう
/毎日何不自由なく生活している私/人のため
に苦労することに/喜びを味わえない時/苦よ
り樂を選ぶ時/人は貧しい者になる/私は私の
手を人のために使いたい▼さて、わが図書館は、
何かを知りたい、学びたい、楽しみたいと思つ
た時、必要な資料や情報と出会うことができる
よう、本年も全力を尽くします。

よむぞう

私の手を人のために使いたい

20世紀と21世紀にまたがって生きると
いう初めての体験をして2001年を迎
えました。おめでとうございます▼21世
紀にふさわしい図書館をめざして、皆様
とともに歩む宇佐市民図書館をどうぞよろしく
お願いします。21世紀を展望する本、予測本(雑
誌も)をたくさん用意してご利用をお待ちして
います▼新世紀を迎えた今日、地球環境はゆら
ぎ、世界は予想を超えて激動し、ごく身近な所
でも小刻みに事が起これ、何ともいえない停滞
感、閉塞感、不安や危惧を抱いているあなた▼
足をしつかり地につけ、世界に目を向け、中長
期的に物事をとらえ、見通しを持って21世紀を
生きようと、ちょっと力んでいる方。いや、そ
んなしちゃんことは考えず、自分流の生き方
をしたいという方▼あなたは新世紀最初の1年
をどう生きようとしているのでしょうか。北海
道の中1・遠藤直美さんの生き方に学びたいと
思います。詩『手』(雑誌『子どものしあわせ』
1月号から)▼星野富弘さんの詩を読んだ/「神
様がたつた一度だけ/この腕を動かして下さる
としたら/母の肩をたたかせてもらおう」/な
ぜか涙が自然に落ちてくる/身体の不自由な人
が必死で生き/お母さんのことを使っている姿
/私はこの手で/何度も人のために使えただろう
/毎日何不自由なく生活している私/人のため
に苦労することに/喜びを味わえない時/苦よ
り樂を選ぶ時/人は貧しい者になる/私は私の
手を人のために使いたい▼さて、わが図書館は、
何かを知りたい、学びたい、楽しみたいと思つ
た時、必要な資料や情報と出会うことができる
よう、本年も全力を尽くします。

21世紀の扉をあなたと開く 宇佐市民図書館



『双葉山定次と宇佐』 BAHAN

「さようなら二十世紀」という演題をつけさせていただきましたが、この百年間には大相撲にも数々の時代がありまして、先ず、最初に人気がありましたのは明治三十年代後半から末期までの梅ヶ谷、常陸山の、梅常陸時代は大変な人気でした。次は双葉山時代。これは昭和十年代ですね。戦後の昭和三十年代前半が栄若時代。これも最も国民的人気が高い時代で四十年ほど前ですね。これは人気

大相撲黃金時代

いう色の青白い太った力士がいましたが、水死体のようだつたことから生まれたことばです。「水が入る」という言葉もあります。「八百長」は国技館に出入りしていた八百屋の長造が、親方に取り入るために、畠碁でわざと負けてあげたことから出てきたことばです。もう一度やり直すという意味で、「しきり直し」も最近よく使われています。

双葉山の偉大さは、これはもうよくいわれていることです。相撲とは何ぞや、相撲道とは何ぞや、ということを若いうちより常に問う続け、「本場所は稽古場の如く、稽古場では本場所の如く」ということを実践してきました。決して「待った」をしない、かけ引きをしないということを貫き通したと

二
名将編双葉山について
全国民を勇氣づけた双葉山
双葉山時代は、戦争中でありましたから勝ち続ける双葉山の姿が、日本国民みんなを勇気づけたといえますし、それほど影響力をもつた大力士でした。現役時代の双葉山は、数々の偉大な記録を残しています。五場所連続全勝優勝、全勝八回、十五場所中十二回優勝、六十九連勝、三十六連勝、二十九連勝二回など、あらゆる記録を持っていました。



『双葉山の世界』 豊の国宇佐市熱

右目と小指のハンディを克服 双葉山は右目と小指にハンディを持ちながら、二十代のうちから相撲道の何かを極めていて、われわれでは想像の及ばない力士であつたといえます。昭和十四年一月場所「未だ木鶏足り得ず」という名言を残し、昭和十五年五月場所、負けが込んだ時「信念の歯車が狂つた」ということばを残しています。この程度でもう歯車が狂つたというのでしたら、今の力士なんか狂いっ放しの感じですがね。双葉山の偉大さは、双葉山について書かれている本によく表れています。「十六歳の時に『無敵双葉山』、『双葉山自叙伝』が二十七歳。すでに人間双葉として完成したものが、本になっています。『双葉山の告白』というレコードも出されています。双葉山がいかに当時、日本人の理想の姿であったか、勝負師としていかに憧れの人だったか立証されていると思います。

右目と小指のハンディを克服

2001年1月1日



(かげやま・ただひろ) スポーツライター。昭和20年東京生まれ。中学時代から、40年以上かけて集めた大相撲資料は約2万点にのぼり、相撲資料収集の第一人者。相撲関係の著書に『大相撲雑学ノート』(ダイヤモンド社)、『とにもかくにも大相撲』(ナンバーワン出版)など8冊ある。現在、雑誌「大相撲」(読売新聞社)に連載中。

景山忠弘氏

立合一瞬にかける

相撲求道録

時津風定次

双葉山の豪傑「相撲求道録」

相撲用語から生まれた一般用語 大相撲が大衆の中に溶け込んでいる証拠に、相撲から生まれた言葉を一般の人が何気なく使っていますね。勘定で「足を出す」「足が出る」は赤字になるのですが、これはちょっととしくじつて土俵から足が出るということから来ています。「勇み足」「軽くいなしてやつたよ」も相撲の取口から出たことばです。

「変わり身が早い」「格段の差」「腰くだけ」「まだ序の口だよ」「白黒をつける」などもあります。「土左衛門」。これは水死体のことで



『別冊相撲』双葉山特集号

もいましたし、明治時代三段目や
十両に「脇内勝市作」（おつとせ
いいちさく）、「猪シ鍋吉」（いの
ししなべきち）など面白い四股名
の者もいました。ともあれ、双葉
山定次というのはいい名前です
ね。

宇佐市民図書館から小学校一年生へ たのしいどうぶつの本

『わにさんどきつ、はいしゃさんど
きつ』



こみ だらう さく 偕成社
いきたくないけどいかなく
ちゃいけない、はいしゃさん。
だけど、これらははいしゃ
さんは、どきつ。
だって、コワイから。

『虫(むし)のがくれんぼ』

うみの カズオ さく 福音館書店

ぜんぶのページに虫さんがいます。すごくじょくす
にかくれています。どこに、なんびきいるのかな?見つけられるかな?
(もういっぴきいたりして)

『森(もり)のネズミのなぞなぞあそび』

おかの がおるこ さく ポプラ社

森のなかで、ネズミさんと女の子がなぞなぞあそびを
しています。“さがそさがそ こたえをさがそ こたえ
はみんな もりのなか” どんななぞなぞがでてくるかな。

『どうぶつの口』

わしお としこ さく アリス館

大きくひらいた口の中。どんなかんじになっているの
かな?ゴリラにアシカにカバにロバ。パンダも見て、さ
て、これはなし?

『エルマーとゆき』

ティビッド・マッキー さく ほるが出版

いたずらがだいすきなぞの
エルマー。きょうはみんなをつ
れてゆきの山にしゅっぱつ。
さむいってたそくたち
もみんなうごいてあつたまつ
いきます。



『子うさぎましろのお話(はなし)』

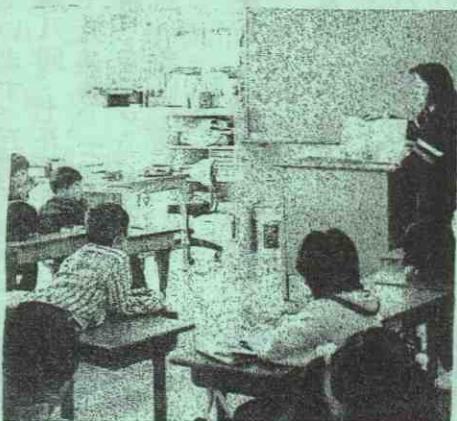
ささき たづ さく ポプラ社

たのしいクリスマス。ましろは
プレゼントがもっとほしいくて、サ
ンタクロースのおじさんに「まだ
もらっていない」と、ウソをついて
しまいます。そくしたら、からだ
のよごれがおちなくなってしまう…
ましろはどうなってしまうので
しょう?



しょうかいした本はみんなとしょかんにあります。

「ブックトーク」耳慣れない言葉ですが、図書館の専門用語で、30年くらい前から行われています。内容は「特定のテーマに関する優れた図書群を、順序よく紹介し、利用を促進しようとする活動」です。



こんなことしています BOOK TALK

途中でストップしたりすることと、クイズを入れたりすることでしょう。

ブックトークは終わりに本のリストも配っています。今までに「絶対おもしろい8冊の本」「おならの本大集合!」「この本おもしろいよ」などを行い、左はその内の一つです。職員も、言葉は聞いていても初めて行うことなので、試行錯誤の連続。話し合いの結果、前日にひっくり返ることもしばしばあります。担任の先生との簡単な打ち合子でもと本とを結びつけ、印象に残るおもしろい本、心の支えになるような本をみつける手助けの一つになることができればと思ひます。

渡辺記念ギャラリー ヒーロー双葉山の時代 ~景山コレクション収蔵記念展~

「天下偉観」ふるさとでの双葉山土俵入り画をあらたに展示

2001年1月31日(水)まで

双葉山のブロンズ像は、昨年末をもって朝地町の朝倉文夫記念館に返却されました。入れ替わりに、展示ケースの中央には、嘯月庵雲僊(しょうげつあん・うんせん)作の「天下偉観」を展示しています。

69連勝を達成した昭和14年に、ふるさとで行われた父母の追善供養土俵入りの様子を描いています。横4メートル、縦1.2メートルの大額に

極彩色で描かれた原画は双葉山に贈られ、ながらく道場を飾っていましたが、東京大空襲で惜しくも焼失。しかし幸いに写真が存在しており、このほど中津市の森口肇さんから宇佐市に写真パネルが寄贈されました。作者の嘯月庵雲僊は本名、渡辺俊彦。広島県出身で、同郷の頬山陽に倣って耶馬溪を愛し、中津に住みました。



借りるんですよ。
また、四年生の姉は、初めは
まんがの本ばかり借りていまし
たが、最近では少しずつ読むこ
とに慣れてきて、読み物を手に
するようになり、以前は見向き
もしなかった長文にも挑戦しよ
うとしています。

親子で図書館を利用してくれ
ているんだな、とれしくなり
ました。



図書館大好き親子

人好き親子
四日市北小
ノオガ大好き

おねがいがあるの
和間小一年生

和間小 一年生

図書館を知ろう 本の並び方について④

図書館を知ろう

本の並び方について④

架の『9』類（文学）の並び方についてです。本は他の類と同じですでの、違う点だけを挙げていきます。

『8』類までは大分類毎に、はじめに文庫本が並び、その後文庫以外の本が並びますが、
『9』類は中分類（大分類の次にある数字）毎に文庫、それ以外の本と並んでいきます。

913.6（小説）と914.6（エッセイ）は『9』類の最後に並んでいます。背ラベル（表紙にある分類シール）は、著者の五十音の行毎に違う色の枠が付いていて、913.6は著者の姓のはじめの二文字だけで表されています。また、913.6と914.6の文庫は一般開架北側の文庫棚に並んでいます。

図書館日誌 11月21日～12月13日

- 11/21(火) 11市社会教育関係課長視察研修7名
11/22(水) 和間小3年生社会見学31名
11/24(金) 市制モニタ施設見学・駅館小ブックトーク【12/15】
11/25(土) 古典に親しむ会【12/2、9、16】
11/28(火) 莢田町立図書館協議会来館10名
古文書を読む会・駅館小2年来館41名
11/29(水) 池田孝二、陽子ご夫妻来館
12/ 2(火) 和紙人形登代の会【12/16】
12/ 6(水) 阿蘇町立図書館来館8名
12/ 7(木) 柳ヶ浦小3年生ブックトーク
12/ 8(金) 中学生委員会35名
12/ 9(土) おはなし会
12/10(日) 図書館友の会
12/12(火)13(水) 河内中学校体験学習2名

寄贈していただいた方

山田和子・坂本佳友・加藤陳
岳・岡本泰治・臼杵市立図書
館・阿部芳昭・As a Person・
手作り自然食友の会・新木安
利・椎田町図書館・貯蓄中央
委員会・文芸同人誌「航跡」
グループ・中村好克・財団法
人日本陸上競技連盟・創作童
話グループ「まらかいで」・
北海道食品科学技術振興財團
・川野文勝

十一月の特集展示